



|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 第 1 回                             | <p>テーマ： オリエンテーション</p> <p>授業内容の概説および授業進行や利用するシステムの説明</p> <p>Gメールの使い方</p>   |
| 第 2 回                             | <p>テーマ：Word の基本・タイピング</p> <p>Word の基本操作（１）</p>  |
| 第 3 回                             | <p>テーマ：Word での書式設定</p> <p>Word の基本操作（２）</p>   |
| 第 4 回                             | <p>テーマ：Word での図表の取り扱い</p> <p>Word の基本操作（３）</p>  |
| 第 5 回                             | <p>テーマ：Excel の基本</p> <p>Excel の基本操作（１）</p>  |
| 第 6 回                             | <p>テーマ：Excel による計算・グラフ作成</p> <p>Excel の基本操作（２）</p>  |
| 第 7 回                             | <p>テーマ：Excel のデータベース機能</p> <p>Excel の基本操作（３）</p>  |
| 第 8 回                             | <p>テーマ：Word・Excel の連携</p> <p>Word・Excel による文書作成</p>   |
| 第 9 回                             | <p>テーマ：中間試験</p> <p>Word・Excel 使用方法について試験を行う</p>   |
| 第 10 回                            | <p>テーマ：PowerPoint の基本</p> <p>PowerPoint の基本操作（１）</p>  |
| 第 11 回                            | <p>テーマ：PowerPoint での図表・動画の取り扱い</p> <p>PowerPoint の基本操作（２）</p>   |
| 第 12 回                            | <p>テーマ：プレゼンテーション実践（１）</p> <p>PowerPoint によるプレゼンテーション制作</p>  |
| 第 13 回                            | <p>テーマ：プレゼンテーション実践（２）</p> <p>PowerPoint によるプレゼンテーション制作</p>  |
| 第 14 回                            | <p>テーマ：プレゼンテーション実践（３）</p> <p>PowerPoint によるプレゼンテーション制作</p>  |
| 第 15 回                            | <p>テーマ：プレゼンテーション発表会</p> <p>PowerPoint を用いたプレゼンテーションおよび相互評価を行う</p>   |
| テキスト                              | 授業時にオンライン教材を提供する  |
| 参考図書・<br>教材／データ<br>ベース・<br>雑誌等の紹介 | 授業時にオンライン教材を提供する  |
| 課題に対する<br>フィード<br>バックの方法          | <p>小テスト、課題演習、試験は Moodle システムによって行い、点数・コメント等のフィードバックは Moodle システム上において行う。</p> <p>プレゼンテーションの評価は学生同士の相互評価によって行う。</p> |
| 学生へのメッセージ・<br>コメント                | キーボードのタイプスピードが遅いと、課題提出等に支障が出る場合があるので、各自タイピング練習サイト等を利用して、タイピング練習を行ってください。  |

2025 年度 授業コード：S2008500

|  |   |
|--|---|
|  | 授業以外：授業教材による予習・前回授業の教材による復習→授業時：（１）予習内容および前回授業の復習内容についての小テスト、（２）予習した知識を利用した課題制作・・・という流れで授業を行うため、授業内容の理解には授業教材を利用した予習が特に重要である。 |
|--|---|

